




自分の花を咲かせよう

第3号
加茂谷中学校通信
R 8.6.1 発行

ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる加中生

梅雨という、どんな気持ちになりますか。しとしと続く雨。じめじめした空気。「ちょっと嫌だなあ」と感じる季節かもしれません。そんな梅雨を、日本人は美しい言葉で表現してきました。「五月雨（さみだれ）」。そして、「雨宿り（あまやどり）」「滝（たき）」どんな景色を思い浮かべましたか。同じ状況も、とらえ方しだいで、感じ方も変わります。

雨の音に耳をすませ、空の変化に目を向け、花の香りを感じ…そんな中で、「五月雨ってどんな雨だろう?」「あじさいの色って昨日と変わっている?」雨の歌を作ったり、俳句や詩を書いてみたりして雨の季節を楽しんでみませんか。



あじさいの花
雨の日の
なろうとする
新しい色に
きょうと
きのうよりも
あじさいの花
やさしい心の
なろうとする
形のよいものに
まるくまるく

あじさいの花
坂村 真民

スクールカウンセラー（SC）さん来校

今年度はスクールカウンセラー川瀬公美子さんが、毎月1回（予定）来校してくれます。自己紹介に来てくれた5月15日には、早速3名の加中生が話を聞いてもらいました。そして、夏休みに入るまでに加中生全員と話をしてくれることになりました。

日本では、これまでカウンセリングを受ける人が欧米に比べてとても少ない状況でした。それは、日本では比較的「カウンセリングは心が病んでから受けるもの」という考えが強いからではないでしょうか。欧米では、カウンセリングを「心の調子を整えるために」と気軽に受ける人が多いそうです。悩みや困りごとがなくても、気になることがあれば話してみましよう。気になることがなくても、話をできる人が増えることは幸せなことだと思います。昼休みや放課後の時間に川瀬さんと話してみましよう。

保護者のみなさんも、ご希望がありましたらご連絡ください。 予定日6月5・19日 7月1日

鯉の滝登り

「中国の黄河上流にある竜門という急流を登りきった鯉は竜になる」という故事があります。

加中生も、それぞれの流れ（人生）の中にいます。急流（滝）を登りきった鯉は龍になるといいますが、13名の加中生も流れに立ち向かいがんばっています。流れに流されるときもあります。今、2年生は職場体験学習でどこに行くか考えています。加中生は、これからどんな流れを登っていくのでしょうか。そして、何になるのでしょうか。

1年後、5年後、10年後、20年後、30年後・・・・・・・・・・・・・・・・



心のバリアフリー 久保 修さん 講演会

6月3日(水)13時～ 加茂谷中学校2階ワークルーム

県内各地で講演活動をしていらっしゃる久保 修さん。

久保さんは、生まれた直後に脳性小児まひを発病し、両手・両足・言語に障がいがあります。幅広く人権教育・啓発に取り組んでおられ、ご自身の経験をもとにたくさんの方の事を教えてくださいます。今回は、「心のバリアフリー」というテーマでお話しいただきます。

一所懸命に話ってくださいる久保さんは、とても明るい方で、たくさんの方の笑いやギャグをよく披露していただきます。最後には、久保さんの思いのつまった「道化師のソネット」を歌ってくださる予定です。

保護者のみなさん、地域の方、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

道化師のソネット 作詞 作曲 歌 さだまさし

笑ってよ君のために 笑ってよ僕のために
僕たちは小さな舟に 哀しみという荷物を積んで
時の流れを下ってゆく 舟人たちのようだね
君のその小さな手には 持ちきれないほどの哀しみを
せめて笑顔が救うのなら 僕は道化師(ピエロ)になれるよ

笑ってよ君のために 笑ってよ僕のために
きっと誰もが同じ河の ほとりを歩いている

僕らは別々の山を それぞれの高さ目指して
息もつかずに登ってゆく 山びと達のようにだね
君のその小さな腕に 支えきれない程の哀しみを
せめて笑顔が救うのなら 僕は道化師になろう

笑ってよ君のために 笑ってよ僕のために
いつか真実(ほんとう)に 笑いながら話せる日がくるから

笑ってよ君のために 笑ってよ僕のために
笑ってよ君のために 笑ってよ僕のために